

2021年5月12日

各位

株式会社北洋銀行

「サステナビリティ方針」の策定および 「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同表明について

北洋銀行グループは、新たに「サステナビリティ方針」を策定し、併せて「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)*」提言への賛同を表明しました。

当行グループは、これまでCSR基本方針に基づき、全てのステークホルダーの持続的発展に資する活動に取り組んできましたが、今般、持続可能な地域社会・環境の実現に対する社会的な意識の高まりを受け、CSR基本方針を発展的に見直し、新たに「サステナビリティ方針」を策定しました。

日本では「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が宣言され、気候変動問題への対応は経済成長の制約ではなく、成長の機会ととらえる潮流が加速しています。当行は「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明し、本提言で推奨される気候関連財務情報開示と脱炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

※気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)： Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略。
2015年12月に金融安定理事会(FSB)により設立された、気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する国際的な支援組織。

サステナビリティ方針

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、
当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと
地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、
当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。